

【事業3】派遣旅費等に要する費用の実費負担

	事業名	質問事項	回答	備考欄
1	社会福祉施設への応援職員派遣支援事業	同一法人内の社会福祉施設間で応援派遣があった場合は本事業の対象になるのか。	対象として差し支えない。	
2	社会福祉施設への応援職員派遣支援事業	応援派遣職員の職種は定められているのか。	介護職等の直接処遇職員だけではなく、運転手など直接処遇職員以外の応援派遣も認められる。	
3	社会福祉施設への応援職員派遣支援事業	派遣先施設だけでなく、派遣元の施設も、社会福祉法の第一種社会福祉事業、第二種社会福祉事業または介護保険サービスの事業所が対象か。	お見込みのとおりである。 【6/8 追記】 ただし、派遣元施設については、住宅型有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅についても対象とし、また、法人事務局についても対象とする。	
4	社会福祉施設への応援職員派遣支援事業	提出する宿泊費等を証明する書類とは、レシートでもよいのか。また、これらの実費に上限等あるか。	領収書やレシートでよい。実費に上限は無いが、社会通念上、常識の範囲内での額に限る。	
5	社会福祉施設への応援職員派遣支援事業	応援派遣職員が勤務する施設から、派遣先に行き、業務後自宅に帰る場合は、旅費の出発地は職場となるのか。	お見込みのとおりである。派遣に係る実際に利用した経路での実費が対象となる。 なお、その場合は、別紙1の備考欄にその旨を記載すること。	
6	社会福祉施設への応援職員派遣支援事業	燃料費は実際にかかった費用を請求するのか。	燃料費については、出発地から派遣先施設までの経路距離と使用車両の燃費を割り戻した額での請求となる。その積算方法(距離、車両燃費、1Lあたりの燃料代等)について、別紙1の備考欄に記載いただくとともに、距離が記載された経路地図(検索サイトマップ等の印刷で可)を資料として添付すること。	
7	社会福祉施設への応援職員派遣支援事業	旅費で高速道路利用料は含まれるか	派遣先施設への経路において、高速道路等の有料道路を利用することが合理的と判断できる場合は対象とすることができる。 なお、その場合は、別紙1の備考欄に利用した有料道路区間とその額を記載すること。	
8	社会福祉施設への応援職員派遣支援事業	損害保険は、応援・派遣元施設が加入するのか。また、施設として損害保険等に加入している場合、応援派遣職員の分をどのように計算するのか。	損害保険は、原則派遣元施設で加入する場合、本事業の対象となる。また、応援・派遣を行うにあたり、新たに必要となる保険料が対象となり、すでに加入している保険でカバーできる場合は対象外である。	
9	社会福祉施設への応援職員派遣支援事業	【7/29追記】 感染施設へ応援・派遣した職員のPCR検査費用は対象となるか。	感染施設へ応援・派遣した職員に限り、派遣後に任意で行ったPCR検査(または抗原検査)費用については対象として県が負担する。 その場合は、旅費等の申請に合わせて、様式1の「請求額(合計)」に検査費用を加えた額を記載し、別紙1の備考欄に検査費用を記載すること。 また、検査費用を証明する書類を添付すること。 ただし、保険適用外の検査に限る。	